

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9643 URL http://www.nnk-cinema.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)服部 徹  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部担当経理部上席部長 (氏名)三田 則男 TEL(052)551-0274  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,402	△5.7	△40	—	△37	—	△41	—
23年3月期第3四半期	2,549	△13.6	12	—	8	—	△0	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △34百万円(—%) 23年3月期第3四半期 △19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第3四半期	円 銭 △76.38	円 銭 —
23年3月期第3四半期	円 銭 △1.06	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第3四半期	百万円 4,551	百万円 2,983	% 65.6
23年3月期	百万円 4,705	百万円 3,045	% 64.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,983百万円 23年3月期 3,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 60.00
24年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
24年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	3,161	△4.7	△65	—	△67	—	△88	—	△163.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	540,000株	23年3月期	540,000株
24年3月期3Q	1,126株	23年3月期	1,100株
24年3月期3Q	538,887株	23年3月期3Q	538,905株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進み、個人消費の持ち直し等により、回復の兆しが見られたものの、海外景気の悪化懸念や円高の影響もあり、依然として厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、サービスの一層の向上を図るとともに、積極的な営業活動および徹底した経費の節減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24億2百万円（前年同期比5.7%減）、営業損失は40百万円（前年同期は営業利益12百万円）、経常損失は37百万円（前年同期は経常利益8百万円）、四半期純損失は41百万円（前年同期は四半期純損失0百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （シネマ事業）

シネマ事業におきましては、「ミッション・インポッシブル ゴースト・プロトコル」「ステキな金縛り」等が好成績を上げたものの、例年に比べ大ヒット作が少なく、売上高は16億57百万円（前年同期比9.4%減）、セグメント損失は20百万円（前年同期はセグメント利益18百万円）となりました。

#### （リラクゼーション事業）

リラクゼーション事業におきましては、地域密着型の運営を心掛け、各種イベントを積極的に実施してまいりました。また、「太平温泉 天風の湯」におきましては、お客様により快適にご利用いただけるよう改装工事を実施し、平成23年12月9日よりリニューアルオープンいたしました。その結果、売上高は5億99百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント損失は27百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

#### （アド事業）

アド事業におきましては、営業範囲の拡大により売上の向上を図ってまいりました。しかしながら、価格競争が依然として厳しく、売上高は1億45百万円（前年同期比43.1%増）、セグメント損失は3百万円（前年同期はセグメント損失18百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更の影響を含めております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は45億51百万円となり、前連結会計期間末に比べ1億54百万円の減少となりました。これは主に有価証券の減少によるものであります。

負債は15億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少によりのものであります。

純資産は29億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円の減少となりました。

自己資本比率は、期首に比べて0.9ポイント増加し、65.6%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月11日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、本日別途開示する「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当連結会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	468,521	407,421
受取手形及び売掛金	76,040	99,702
有価証券	170,042	70,102
たな卸資産	8,438	10,551
繰延税金資産	23,287	23,287
その他	94,321	125,316
貸倒引当金	△1,009	△1,396
流動資産合計	839,643	734,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,479,829	2,448,823
機械装置及び運搬具（純額）	157,445	161,016
工具、器具及び備品（純額）	117,012	95,652
土地	179,153	179,153
有形固定資産合計	2,933,439	2,884,646
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	35,020	31,498
無形固定資産合計	36,168	32,646
投資その他の資産		
投資有価証券	258,707	261,888
差入保証金	600,985	602,336
長期前払費用	3,574	2,282
繰延税金資産	32,999	32,302
投資その他の資産合計	896,266	898,809
固定資産合計	3,865,874	3,816,101
資産合計	4,705,517	4,551,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	237,326	230,601
1年内返済予定の長期借入金	192,058	168,319
リース債務	19,147	17,326
未払金	2,211	17,818
未払法人税等	2,276	—
未払消費税等	6,360	—
未払費用	44,631	64,284
賞与引当金	13,800	6,894
その他	30,553	33,844
流動負債合計	548,365	539,088
固定負債		
長期借入金	612,680	537,191
リース債務	17,812	16,360
役員退職慰労引当金	99,023	104,736
退職給付引当金	52,676	51,714
資産除去債務	48,434	49,110
受入保証金	281,436	269,142
繰延税金負債	—	6
固定負債合計	1,112,062	1,028,261
負債合計	1,660,427	1,567,350
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金	13	13
利益剰余金	2,761,133	2,693,130
自己株式	△10,263	△10,428
株主資本合計	3,020,883	2,952,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,205	31,021
その他の包括利益累計額合計	24,205	31,021
純資産合計	3,045,089	2,983,737
負債純資産合計	4,705,517	4,551,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,549,040	2,402,578
売上原価	1,195,600	1,135,232
売上総利益	1,353,440	1,267,345
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	41,179	40,320
人件費	440,643	436,319
賞与引当金繰入額	6,810	6,894
役員退職慰労引当金繰入額	6,945	7,013
退職給付費用	4,453	6,600
減価償却費	170,122	168,266
地代家賃	292,192	290,971
水道光熱費	130,897	128,425
修繕費	2,447	3,941
貸倒引当金繰入額	—	387
その他	245,010	218,349
販売費及び一般管理費合計	1,340,701	1,307,489
営業利益又は営業損失(△)	12,738	△40,143
営業外収益		
受取利息	285	340
受取配当金	5,933	6,213
協賛金収入	1,309	95
補助金収入	—	6,811
その他	3,112	2,087
営業外収益合計	10,640	15,548
営業外費用		
支払利息	12,712	9,662
その他	2,417	3,001
営業外費用合計	15,130	12,663
経常利益又は経常損失(△)	8,248	△37,259
特別利益		
貸倒引当金戻入額	937	—
資産除去債務履行差額	—	29
特別利益合計	937	29
特別損失		
固定資産売却損	—	313
固定資産除却損	557	22,288
投資有価証券評価損	—	4,094
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,746	—
特別損失合計	11,303	26,696
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,117	△63,926
法人税等	△1,541	△22,764
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△575	△41,161
四半期純損失(△)	△575	△41,161

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△575	△41,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,651	6,815
その他の包括利益合計	△18,651	6,815
四半期包括利益	△19,227	△34,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,227	△34,345

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	シネマ	リラクゼーション	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,830,385	617,089	101,566	2,549,040	—	2,549,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	143,751	410	1,965	146,126	△146,126	—
計	1,974,137	617,499	103,531	2,695,167	△146,126	2,549,040
セグメント利益又は損失(△)	18,021	1,925	△18,605	1,341	11,396	12,738

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額11,396千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	シネマ	リラクゼーション	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,657,734	599,494	145,348	2,402,578	—	2,402,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	144,976	490	1,302	146,769	△146,769	—
計	1,802,710	599,985	146,651	2,549,347	△146,769	2,402,578
セグメント損失(△)	△20,924	△27,289	△3,832	△52,046	11,902	△40,143

(注) 1. セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント損失(△)の調整額11,902千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するにあたり、セグメント間取引の消去及び全社費用等のセグメントへの配分を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を変更後の算定方法により作成し直しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。